

○事業所名	キッズ おりーぶの木 茅ヶ崎		
○保護者評価実施期間	令和6年10月20日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和6年10月20日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの安全安心に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・通所時のこどもの安全安心を第一に心がけることが職員の支援における責務の最も大事なことでありとの意識付けを日々励行している。 ・ヒヤリハット等の情報について職員間の情報交換に努めている。 ・子ども達に日頃から安全安心につき、ことに応じてその場で指導することをやっている。 	現在までの対応をさらに充実させる。
2	事業所が、個々の子どもにとってかけがえのない居場所となるよう図る取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のこどもの発達状況や個性にあわせて、ニーズをくみ取り支援を行うことを心がけている。(個々のこどもの学習の重要性、運動の量や質への配慮、アート工作活動への促し等こどものニーズに合わせて支援を行っている。) ・年間行事や地域での活動なども踏まえ、それぞれの子どもが地域の一員として振舞いまた楽しいと思えるよう支援を行っている。 ・地域を大事にする活動を行っている。 	より専門性のある職員の登用(常勤の職員として、また外部の専門家の招へいとして)の検討・実施。
3	こどもが通所時にたいへん楽しいと思う支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが行いたいという活動等こどもの自主性に任すところも取り入れ、職員がその活動について適宜適切にフォローし活動を完了させる。(特にアート工作や公園での集団での遊び、地域の子ども達との交流など) ・年間行事を充実させて、季節感を演出し、自然の運行との一体性を感じられるようにしている。 ・事業所外(公園、公民館、博物館、地域寺社、ファミリーレストラン等)での活動を積極的に取り入れ、事業所内だけでは持てない経験、体験を得られるよう図っている。 	現在までの対応をさらに充実させる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が現在は特別な保護者(通所児童の兄弟姉妹を含む)を交えた活動に限られている。(保護者会のようなものが置かれていない。)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの要望がなかった。(年中行事等で子どもと一緒に参加をしたいという要望はあった。) ・一人親で就業している、またお父さんとお母さんが共に就業しているこどもの家庭も少なくなく、保護者会を開催しても集まれる保護者の数が限定される(少ない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会のようなものがあれば、保護者同士の情報交換を促し、また事業所に対する要望も抽出しやすくなるなどよいことも期待され、検討課題として進めてみる。 ・試みにまず保護者に要望を確認することを進めてみる。
2	ペアレントトレーニング等の保護者と通所児童一緒に対象とする家族支援のプログラムの提供がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの要望はこれまでなかった。 ・重要性は認識していたが、積極的に前に進めてこなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所児童の療育を考える場合も、子どもだけを見ていたのでは十分でないところがあり、親も一緒に参加できる取り組みはよい効果も多いと思われ、前に進めることを検討する。 ・就業をしている保護者にとっては、時間を確保することが難しい面もあるが、外部の定評ある研修会の情報等を積極的に提供することをこれまで以上に進める。 ・個々の子どもと親についてよくニーズを検討し、適すると思われる外部研修会を探し提案する。
3			